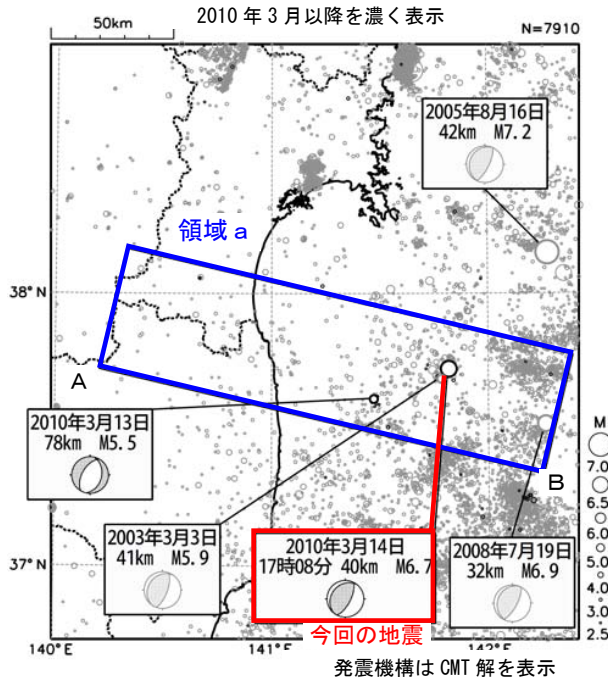


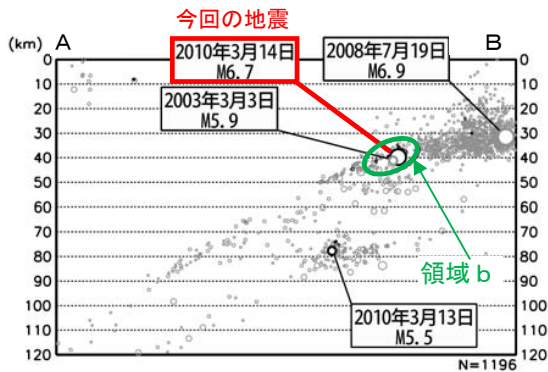
3月14日 福島県沖の地震

プレート境界の地震、逆断層型、M6.7、最大震度5弱

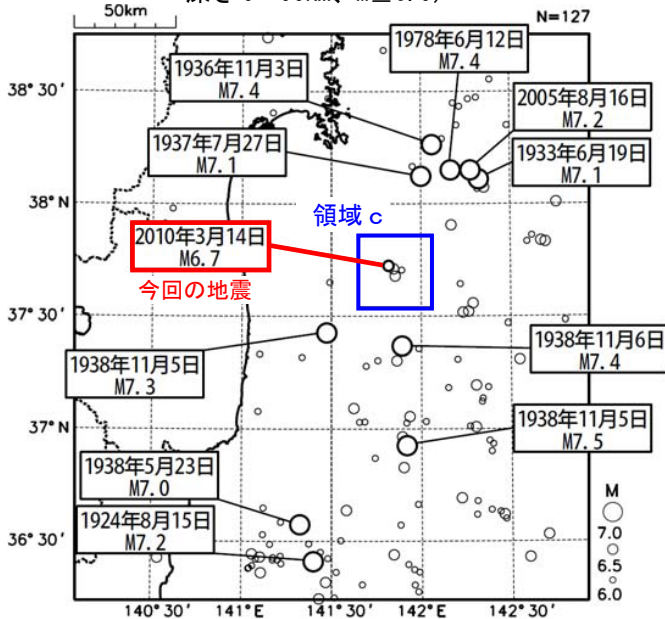
震央分布図 (2001年10月1日~2010年3月31日、深さ0~120km、M \geq 2.5)



領域 a の断面図 (A-B 投影)



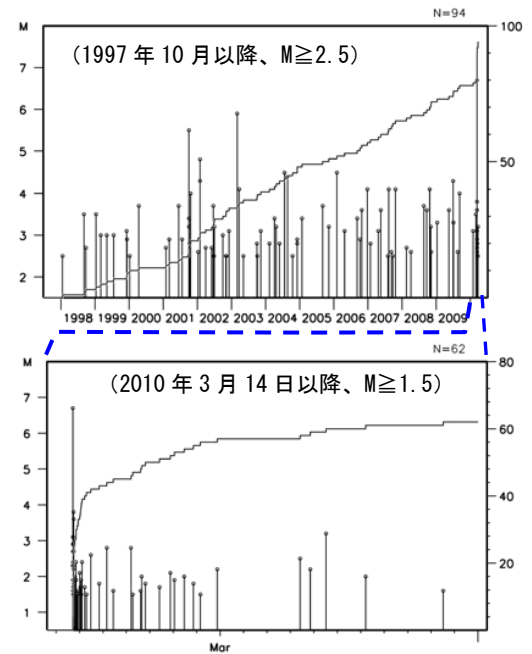
震央分布図 (1923年8月1日~2010年3月31日 深さ0~90km、M \geq 6.0)



2010年3月14日17時08分に福島県沖の深さ40kmでM6.7の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震により、負傷者1名、住家一部破損2棟などの被害が生じた(総務省消防庁による)。この地震の発震機構(CMT解)は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。余震活動は収まりつつある。

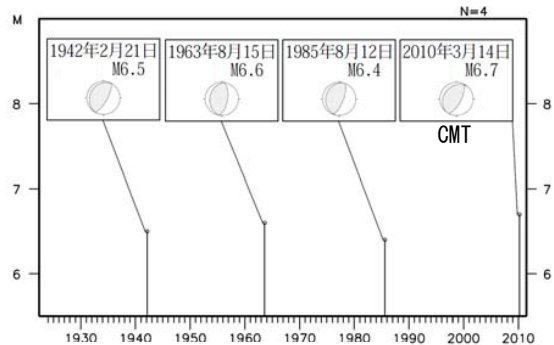
1997年10月以降の地震活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b内)では、2003年3月3日にM5.9の地震(最大震度4)が発生している。

領域 b 内の地震活動経過図・回数積算図



1923年8月以降の地震活動をみると、今回の地震の震央付近(領域c内)では、M6.4~6.7の地震が21~25年に1回の割合で発生している。今回の地震は、前回の地震の約25年後に発生し、過去4回の地震の中で最大規模であった。

領域 c 内の地震活動経過図



※1942年と1963年の地震の発震機構解は、Ichikawa(1971, Geophys. Mag. 35, 208-274)によるもの。